

つくる

すみだモダンフラッグシップ商品開発

クリエイティブディレクターの統括のもとに、コラボレーターと事業者の共創による商品開発を実施します。「デザイン経営」の考え方を盛り込み、コラボレーターとともにマーケティング・知財等を学ぶワークショップやセミナーに参加後、約3年をかけて商品開発に取り組みます。※本事業は2024年度をもちまして終了いたしました。

2シーズン制を導入した3年間のプロジェクト

参加事業者を公募し、その後、コラボレーターとのマッチングを経て、プロジェクトを決定します。すみだモダンの理念に基づき、その企業の「フラッグシップ」となる商品の開発には、ターゲットとなるマーケットをはじめ、自社の「強み」・「弱み」など、ものづくりにかかわる企業活動について改めて深く考えることが重要です。開始2年目での製品化、3年目での商品化を目標にスタートし、以降は事業者の自走を目指しています。



▲クリエイティブディレクターの廣田尚子氏

4つのアクション

学ぶ

ワークショップを通し自社を見つめ直す

公募により参加事業者を決定し、デザイン経営・商品企画・知財等の各ワークショップに参加し、コラボレーターとともに自社について考察します。



起こす

デザイン経営の視点で必要なモノ、コトを導く

コラボレーターによる現場視察、課題の共有等を経て、ともに新商品開発に取り組みたい相手の希望をもとに、マッチングを実施します。



創る

経営者・社員・コラボレーター、“みんなでデザイン”

ワークショップで得た知見をふまえ、商品企画・デザイン・試作等を繰り返し、販路の検討も含め、全員参加型 (co-design) で商品開発を進めています。



続ける

商品が売れることよりも企業経営が続くことを目的にデザイン経営の視点に立ち、参加事業者が無理のない持続可能な活動ができるよう、見直し・改善を随時行い、自走を目指していきます。



つくる

すみだモダンフラッグシップ商品開発 活動レポート

●マッチング [起こす]

2021年度、2022年度にそれぞれ、コラボレーターによる現場視察、課題の共有等を経て、ともに新商品開発に取り組みたい相手の希望をもとに、マッチングを実施しました。今年度は第1期・第2期の各プロジェクトの商品化支援に注力しました。

○プロジェクト協力者

クリエイティブディレクター

ヒロタデザインスタジオ
女子美術大学教授
廣田 尚子

第1期コラボレーター

CEMENT PRODUCE DESIGN
金谷 勉
リコー
総合デザインセンター
KAICHI DESIGN
山田 佳一郎

stagio inc.
大友 学
TOTO
デザイン本部

第2期コラボレーター

JIN KURAMOTO STUDIO
倉本 仁
STUDIO BYCOLOR
秋山かおり
コクヨ
ヨハクデザインスタジオ

○2021年度 [第1期] プロジェクトチーム



stagio inc.
大友 学 氏
×
廣田 硝子



stagio inc.
大友 学 氏
×
岩澤 硝子



KAICHI DESIGN
山田 佳一郎 氏
×
間中 木工所



リコー
総合デザインセンター
×
石井 精工

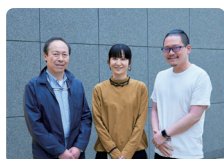


TOTO
デザイン本部
×
芝崎 合金 鑄造所

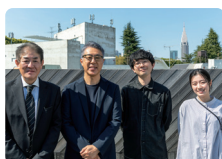
○2022年度 [第2期] プロジェクトチーム



JIN KURAMOTO STUDIO
倉本 仁 氏
×
東商 ゴム工業



STUDIO BYCOLOR
秋山 かおり 氏
×
片岡 屏風店



コクヨ
ヨハクデザインスタジオ
×
昌栄工業

○最終発表

第2期のプロジェクトが最終年度を迎えたタイミングで、すみだモダン、デザイン経営の考え方を改めて共有しつつ、第1期、第2期それぞれのプロジェクトチームごとに最終報告や今後の展望等について報告しました。
(2024年7月9日 SUMIDA INNOVATION COREにて開催)



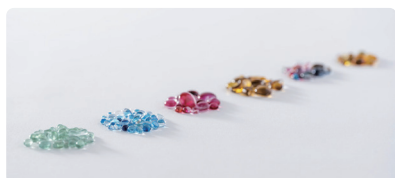
つくる

すみだモダンフラッグシップ商品開発 活動レポート

●商品開発 [創る]

ワークショップで得た知見をふまえ、マッチングの成立した事業者とコラボレーターはチームとなり、商品企画・デザイン・試作等を繰り返し、販路の検討も含め、全員参加型で商品開発を進めていきます。各プロジェクトの進行状況は、随時すみだモダン公式サイトで取材記事として公開しています。

第1期プロジェクト



リサイクルガラスのアクセサリ
stagio inc. 大友 学氏×廣田硝子

“美しいリサイクルガラス”の事業化という難題に挑戦し、独自の研究を重ねながら、アクセサリの完成をめざしている。



FUTATSUKI
stagio inc. 大友 学氏×岩澤硝子

都内でも希少な「溶融窯」で職人がつくる“気取らない普段使いの硝子”の第一弾として、フタ付きのカップを完成させた。



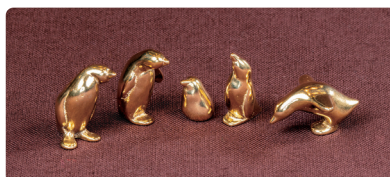
MORI Bench
KAICHI DESIGN 山田 佳一朗氏×間中木工所

区内公園工事等でやむを得ず伐採した樹木を活用し、柴田コンクリートとの共創によりベンチを製作している。



MITATE 金属の割り箸
リコー総合デザインセンター×石井精工

金属加工技術を駆使し凸凹の「はめ合い」により割り箸を割るパキッと感を再現した。繰り返し使える金属製の割り箸。



人鳥願具(ペンギンがんぐ)
TOTO デザイン本部×芝崎合金鋳造所

廃棄された水道の蛇口等も原料に活用しているペンギンのオブジェ。すみだ水族館の監修も得ながら愛らしい姿を再現。

第2期プロジェクト



Sample Book
JIN KURAMOTO STUDIO 倉本仁氏×東商ゴム工業

研磨工程で発生する端材をリサイクルした新素材の開発や、自社技術を広く伝えるためのツールとして素材の見本帳を制作。



扇-SENN-
STUDIO BYCOLOR 秋山 かおり氏×片岡屏風店

事業の主力である「節句」において「屏風」が主役となるプロダクトの開発を進め、折りたためる雛飾りを製作。



PRESS PRESS
コクヨ ヨハクデザインスタジオ×昌栄工業

平面から立体への金属の加工工程の見える化にアプローチし、金属加工の魅力と新たな視点を伝えていくブランドを展開。

つたえる

すみだモダンブランドコミュニケーション展開

すみだモダンの活動を多様なメディアを通して広く発信し、多くの人々の共感を得ることでファンの獲得を目指します。

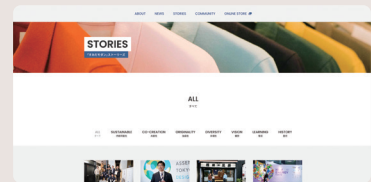
公式サイト

すみだモダンの情報を網羅するメディアを運営



つながる=パートナーシップ連携、つくる=フラッグシップ商品開発、つたえる=コミュニケーション展開という3つの事業を核に深化を続ける地域ブランド「すみだモダン」。そのすべてがわかるホームページです。「STORIES」ではすみだモダンに関する人びとのインタビューやイベント記事を次々と更新中。ものづくりの物語を、持続可能性・共創性・独自性・多様性・構想・育成・歴史という7つの視点から深く知ることができます。ものづくり・まちづくり・未来づくりのヒントが満載のサイトです。

<https://sumida-brand.jp>



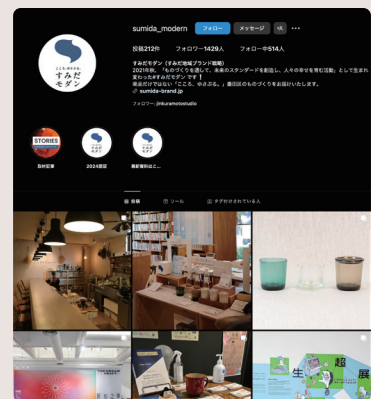
SNS (Instagram) の運用

商品やイベントの情報をスピーディに発信



Instagram公式アカウントは、すみだモダンに出会い、マインドに触れる入り口。200点近くある認証活動・認証商品やさまざまなプロジェクトの紹介をはじめ、展示・ワークショップなどのイベント、メディア出演の最新情報もキャッチできます。すみだモダン公式サイトへのリンクも張られているので、商品や作り手に興味を感じたら、その奥深いストーリーを知る近道にもなります。X, Facebookでは墨田区産業振興課の公式アカウントとして「ものづくりのまち すみだ」も展開中です。

@sumida_modern



区内での展示とモニタリング事業

すみだのまちで会える、すみだモダン

墨田区内の4つの施設、八広図書館・ひきふね図書館・墨田区庁舎・すみだ産業会館にて、すみだモダン認証商品を展示。すみだモダンという地域ブランドを、区内に広めるための取り組みです。

また、国内外の観光客にすみだモダンの商品を使っていただくプロモーションとして、東京ミズマチ（墨田区向島）にあるWISE OWL HOSTELS RIVER TOKYOでは、認証商品のモニタリングを行っています。



つたえる

催事実績

「すみだモダン」を広めるため、区内外でさまざまなイベントを開催しています。



〜こころ、ゆさぶる商品に出会う〜 すみだモダン2023-2024認証POP UP
2025年1月〜2月 | GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA



展示会「NEW ENERGY TOKYO」
2025年2月 | 国立代々木競技場 第一体育館



未来をつなぎ、はぐくむ ものづくりのまち すみだモダン2024ブランド認証展
2025年3月 | coto mono michi at TOKYO